

明保通信 10月号

平成26年10月15日

ホームページアドレス <http://www.nishitokyo.ed.jp/j-meihou/>

日本人 3人 ノーベル物理学賞！！ 素晴らしかった学年行事！！



校長 山田武司



暑かった9月も終わり、2学期も1ヶ月が過ぎました。10月に入り相次いでノーベル賞が発表されました。その中で青色発光ダイオードの開発と実用化を成し遂げた日本人3人にノーベル物理学賞が贈られました。受賞理由に「白熱灯が20世紀を照らした。21世紀はLEDに照らされる。」とあります。今まで、赤色、緑色のLEDは開発されてきましたが、青色の開発で、白色はもちろんですが様々な色を作り出すことができます。(1年生の美術で学習した光の三原色を覚えていますか) 受賞した3人は、「若い人に頑張ればチャンスはあることを示せた」「数々の失敗の上に築きあげた経験が発明につながった」「グローバルな競争者社会で挑戦する若者に希望を与えたい」「私のような平均的な日本人でもこんな榮譽をいただける。若者は自分の目標に向かって頑張っていたきたい。」とも話をしています。明保中学校の皆さんもぜひ、自分の目標に向かって、失敗してもあきらめず努力を積み重ねて欲しいと思います。

このほかに、**化学賞**では分子レベル(5万分の1ミリほど)で観察できる新しいタイプの光学顕微鏡を開発した3人が受賞し、これまで見えなかった細胞内の詳しい様子が分かるようになり、病気の解明などに役立つとされています。**生理学・医学賞**には、自分の位置を認識する細胞を発見した3人が受賞。これは「アルツハイマー病や統合失調症など、空間を忘れる病気の解明につながる」と期待されています。また、**平和賞**には、女性の教育を受ける権利を訴えてきた最年少17歳のパキスタン人マララさんと不当に働かされている子供たちの救出や教育などの活動をしてきたインド人サティアルティさんの2人が受賞しました。

マララさんは、過激派の襲撃で瀕死の重傷を負った後も、女性が教育を受ける権利を訴え続けてきました。世界では戦争や、いわれのない弾圧で、子供たちが教育を受ける機会を奪われている人が大勢います。マララさんは受賞の記者会見で「これはまさに始まりです。私は全ての子供たちが学校に行くのをみたいです。いまだに5700万人もの子供たちが教育を受けられず、小学校にすら通っていません。私は全ての子供たちが学校に行き、教育を受けるのを見たいです。…私の故郷では武装勢力の支配下にあり、学校に行くこと誰にも許されていませんでした。私は自分の権利のために立ち上がりました。他の誰か(誰かがなにかしてくれる)を待ったのではないのです。私には2つの選択肢しかありませんでした。1つは、声を上げずに殺されること。もう一つは、声を上げ殺されること。私は後者を選びました。当時はテロがあり、女性は家の外に出ることが許されず、女子の教育は完全に禁止され、人々は殺されていました。当時私は学校に行きたかったので声を上げる必要がありました。私も教育を受けられなかった女の子の1人でした。私は学びたかった。私は学び、将来の夢をかなえたかった。…この賞は声なき声を持つ全ての子供たちのためにあるのです。…(一部抜粋)」



皆さん、マララさんの言葉をどう思いますか。今皆さんは、いつでも学ぶ機会が与えられています。外も自由に歩けます。皆さんはこうした自由はあることが当たり前とっていますが、世界を見渡すとそうではありません。皆さんにはぜひ、この自由に学ぶべき機会を生かして欲しいと思います。自分の将来の夢をしっかりと持ち、その実現に向かって全力で学ぶ努力をして下さい。

始業式から1ヶ月が過ぎました。この間、各学年いろいろな行事が行われました

3年生にとっては最大の学年行事である修学旅行も無事終わり、京都・奈良を訪れそれぞれが様々な体験や思い出を残し戻ってきました。宿舎の方から「落ち着いて、しっかりした子どもたちですね。来年もぜひ来てください。」とお褒めの言葉を頂き、教職員にとって大きな喜びと同時に、よき伝統を引き継いでくれた子どもたちに感謝の気持ちがいっぱいです。また今回の修学旅行が明保中学校でのよき思い出として、心に残ったことは、生徒の作文を見ても伺われます。



また、**2年生は職場体験**を行いました。

現在、ニート(働くことや学ぶことを放棄し、労働市場に参入してこない若者たち)が約60万人、やフリーターは180万人以上いると言われ、中学校での進路指導の大切さが改めて叫ばれています。こうした中、明保中学校では、進路指導で・自己を知る・職業調べ・職場訪問・職場体験・職業適性検査・ハローワークの方の話をお聴くなど継続的、組織的に取り組んでいます。



今回の2年生の職場体験では、それぞれの事業所でまじめに取り組んでいてとても立派でした。働くことのすばらしさや働くことの大変さ、社会人としてのマナーなどを学んでこれからの自分の生き方の指針になればと考えています。

そして、**1年生は、中学生になって初めての都内の校外学習**をしました。実行委員会を中心にしっかりと計画を立て、各班とも班長を中心に班員がお互いに協力してすばらしい校外学習を実現してくれました。朝の通勤時間に電車に乗り、公衆道徳、マナーの大切さを感じ、今後の社会の一員としての自覚もすっかり持つことができたことと思います。



このあとの各学年とも、事後学習を含めて10月末の総合作品展で報告する予定をしておりますので、ぜひ、ご覧いただきますようお願いいたします。

これからますます過ごしやすい時期になります。各学年の行事が大成功に終わりましたが、今後もこの勢いで、いろいろなところで力を発揮し、実り多い秋にして欲しいものです。

生徒会役員決定

9月27日(金)に生徒会役員選挙の立ち会い演説会・その後投票が行われました。立ち会い演説会では、それぞれの候補者が、明保中学校をさらにより学校にしようという強い決意を堂々と述べていました。その後の投票で、新役員が決まりました。今回の生徒会役員選挙では信任投票となりましたが、明保中学校をより素晴らしい学校、安心して生活できる学校にしようという熱い思いを持ち行動してくれる人がこんなにも多くいることに感動しました。

3年生を中心とした旧役員の皆さん、お疲れ様でした。新しく選ばれた役員の皆さんは、これまでの生徒会の伝統を受け継ぎ、さらに発展させてください。将来、生徒たち自身で社会を形成していくことができるようになるためにも生徒会は大切な活動です。学校としても、生徒たち自身でより良い明保中、より楽しい明保中を作り上げていくことができるよう、生徒会活動に関わっていきたくて考えております。



会長	2 B	森田	莉帆	さん	・	副会長	2 B	岡崎	翔	さん
副会長	2 A	窪	瑠奈	さん	・	書記	1 C	廣瀬	瑠里	さん
書記	1 C	石井	薫	さん	・	庶務	1 C	小川	友万	さん
庶務	2 A	西出	圭吾	さん						



10、11月の行事予定

- | | | | |
|-----------|-------------|--------|--------------|
| 10月17日(金) | 言語能力向上拠点校発表 | 18日(火) | 期末考査(国、体、美) |
| 22日(水) | 3年進路説明会 | 19日(水) | 期末考査(理、数、技家) |
| 25日(土) | 作品展 | 20日(木) | 期末考査(社、英、音) |
| 29日(水) | 3年三者面談始 | | |
| 11月5日(水) | 午後カット | | |
| 6日(木) | 3年三者面談終 | | |



保護者・地域の皆様へ

10月17日(金)に明保中学校でこの3年間研究を進めてきた成果の発表を行います。ぜひ、お誘い合わせの上、ご参加ください。

研究発表会のご案内

《研究主題》

言語活動を通して考える力を高める

～様々な場面での言語活動を通して自分の言葉で表現できる生徒の育成～

- ◇日時 平成26年10月17日(金)
- ◇受付 午後1時10分から
- ◇公開授業 午後1時25分から 全学級公開授業
国語・数学・英語・社会・理科・保健体育・技術
- ◇研究発表 午後2時30分から(体育館)
- ◇記念講演 午後2時45分から午後3時30分まで(体育館)

「ことばは語る ことばは動かす ～スポーツ世界の見えない力～」

法政大学スポーツ健康学部学部長・元NHK解説委員

講師 山本 浩 先生

2020年東京五輪招致活動において、来日したIOC評価委員への国内プレゼンテーションを務めるなど、東京五輪招致活動を陰で支えた立役者